
「救急外来初期診療における診断支援 API の重篤疾患提示能力に関する探索的検証」 に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学病院 IRB（倫理審査委員会）の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2025年1月1日から2025年12月31日の期間に埼玉医科大学病院救急・中毒センターを受診し、入院治療が必要と診断された患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

AI（人工知能）の支援により、見逃されると危険な疾患の可能性を来院後1時間以内に提示できるかどうか検証します。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2026年4月20日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

利用する調査項目は患者さんの①年齢、②性別、③主訴（来院時の症状）、④診察時の身体所見、⑤来院1時間以内の血液・尿検査結果およびX線検査・CT検査などの画像所見、⑥入院時の病名の6項目とします。

本研究では診断支援のためにコンピュータによる解析（AI技術）を使用します。この際、外部の安全なサービスを利用しますが、氏名、生年月日、住所、カルテ番号など、個人を特定できる情報は一切送信しません。送信される情報は、年齢や症状、検査結果などの個人が特定できない

形に加工された情報のみとなります。

通信は暗号化された方法で行われており、情報が外部に漏れないよう配慮されています。

また、本研究で得られた結果は研究目的のみに使用し、個人が特定される形で公表されることはありません。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学救急科において、研究責任者である高平修二が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

前項に挙げた患者さんの調査項目は診療記録をから取得します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学病院 救急科 高平 修二（研究責任者）
- ・ 同 上 芳賀 佳之
- ・ 同 上 松本 佳祐

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

- ・ ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができますので、以下の連絡先までご連絡ください。
- ・ 埼玉医科大学病院が保有している患者さんご自身を識別できる情報をご覧になりたい場合は、所定の方法により開示することが可能です。ご希望の場合は、以下の連絡先までご連絡ください。
- ・ 研究計画や研究実施に関する手続きの相談、研究により得られた結果に関する相談等がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

埼玉医科大学病院 救急科 芳賀 佳之

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1211（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：救急外来初期診療における診断支援 API の重篤疾患提示能力に関する探索的検証

○研究責任者：埼玉医科大学病院 救急科 高平 修二